



# ロヒンギャの ため祈る30日

「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。」民数記6:24-26

世界中に離散したロヒンギャ人は、今も困難の中に生活しています。それをご覧になる主が彼らを憐れんで、全能の力をもって助け出してくださいますように。私たちもラマダンにあわせてロヒンギャ人のために祈りましょう。その生活、肉体、感情と精神、魂、社会とのつながりなど、あらゆる分野にキリスト・イエスが手を置いてくださり、その人生が本当に変えられますように。

## B

身体的必要：ロヒンギャ人達の身体的ニーズと真の健やかさのために祈ります。

### 1日目

シャジュさんは、ミャンマーにいたころ大家族に囲まれて農園でのびのびと育った様子を懐かしそうに話してくれました。今は難民となってマレーシアに住んでいますが、隣とひしめきあうようなアパート暮らしは息が詰まると感じています。子供たちも走り回りたい年ごろですが、健康な心身を発育させるのに十分な運動スペースを与えてやる事ができません。シャジュさんの子供達のため、また似たような境遇にいる世界中のロヒンギャ難民のため祈りましょう。厳しい住環境でも健やかに成長し発達していくことができますように。

### 2日目

「政府公認の病院ではロヒンギャ人はまともに診てもらえないらしいです。だから病気になっても病院には行きたくないわ」と友人のサリマさんから聞きました。そのような不平等が存在する国でも、医師や看護師たちがロヒンギャ人の患者を、尊厳をもって大切に扱うように祈ってください。病気になり助けを必要としているロヒンギャ人の患者にきちんとした医療的ケアが与えられ、差別などに合わないよう祈ってください。

### 3日目

長いこと出血に苦しんでいるゾミラさんという女性がいます。夫も大変心配してあちこちの病院を一緒にまわりましたが、良くなる気配はなく貧血はひどくなる一方です。体調が悪くても医療に簡単にアクセスできないロヒンギャ人女性は他にもたくさんいます。ゾミラさんの場合は近所の人たちや地域の子供たちからとても頼りにされてきた女性なので、癒されてその役目に戻れるようにと願っています。ロヒンギャ人女性たちのためお祈りください。

### 4日目

ファティマさんはここ数か月体調がすぐれず、病院にいくのですがはっきりした原因がわかりません。主イエスを信じている隣人がいて彼女の体調のために祈ってくれました。いったん回復したようにみえても現在はまた体調が悪化しています。ファティマさんの癒しのためにお祈りください。医療チームに的確な治療をする知恵が与えられるように。祈ってくれた隣人が主イエスの福音を伝えているので彼女が心を開いてイエス様を受け入れられるように。

### 5日目

キリスト者たちが、隣のロヒンギャ人のため健康的なニーズも含めて祈ることを学びますように。「父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」(ヨハネ20:21)と言われた主イエスの名によって祈るときに、ロヒンギャ人にイエスが生きておられる方だということが明らかに証しされ、イスラム教でいわれている預言者としての地位以上の方であるとわかりますように。

### 6日目

世界中に離散したロヒンギャ人は、あなたの隣にも住んでいるかもしれません。キリストの教会はロヒンギャ人難民の問題にどう向き合うのでしょうか。教会が彼らの必要に全人的なアプローチをすることができますように。私には都合が悪いから関わりたくないとか、恐れや偏見によって、マタイ25:40に書かれている良き行いをせずに避けていませんか。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」世界中の教会が障害を乗り越えてロヒンギャ人の友となることができるよう祈りましょう。彼らを愛し、彼らの生活を助けることで主イエスはどんな方であるのかを示していくことができますように。

生活の必要：家族を養うために仕事が見つけれられるように。少しでも今より健やかで幸せな生活をおくれるように。

## 7日目

ミャンマーのラカイン州に残っているロヒンギャ人の収入は、他州で働いている親戚からの仕送りに頼るほかありません。ミャンマーで現在起きている政治の混乱のあおりで国に残っているロヒンギャ人の多くが失業しました。さらに送金システムが停止している状態なので仕送りもできません。働くことを願っているロヒンギャ人達がミャンマー国内で仕事を得ることができるよう。そしてラカイン州で生活の糧を必要としている人たちがなんとか生きていくサポートを得られますように。

## 8日目

マレーシアに住むイシュマエル氏は仕事を失い大変苦労しています。マレーシアでは新型コロナウイルスのパンデミック以降、難民のせいで感染が拡大しているのではないかという非難が起こり、ロヒンギャ人たちも仕事を追われたり、検査費用は自分で出すように求められたりして困っています。検査費用は彼らの1週間分の給料にあたる額なのです。イシュマエル氏と家族の生活の必要に奇跡的な満たしがあるように祈ってください。同じような境遇にいるたくさんのロヒンギャ人家族も、良い雇用主に出会って仕事を見つけることができますように。

## 9日目

ロヒンギャ人が祖国ミャンマーから逃げ始めたのは約35年前。特に2年前に起きた凄惨な迫害によって大規模難民化した100万人ほどが隣のバングラデシュへ押し寄せました。しかしこの国も難民を永住させるつもりがないようです。現在ロヒンギャ人はNGOから毎月支給されるわずかなお金に頼り生活の必要や医療代をまかなっている状況です。バングラデシュではロヒンギャ人が正規の仕事に就くことは禁じられ、子供の教育も8歳までと制限されています。居住地から3km以上の移動は禁止...など。これでは腰を据えて暮らしていくことができません。人間的にみると絶望的な現状なのですが、主の奇跡がバングラデシュに住むロヒンギャ人達の生活に長期的な助けをくださいますようお祈りください。

## 10日目

アヌワールがマレーシアに来たのは15歳の時でした。家出したと知って両親は激怒しましたし、渡航の仲介業者は人身売買まがいのやり方で難民を売り渡しているの、結局彼が解放されるために両親が借金をして身代金を払わなくてはいけませんでした。それから7年間働きながら家族のため、弟たちの教育資金のために仕送りをしてきましたが、新型コロナによるロックダウンで失業してしまいました。アヌワールは家族に送金もできないならどうして家族からこんなに遠く離れて住んでしまっているのかと悩んでいます。アヌワールのような青年たちに仕事と生活の必要が備えられるとともに、その悩みを通して主イエスの希望の福音に出会えるように祈ってください。

## 11日目

一家そろって3年前アメリカへ移住できたジャスミンさんでしたが、夫の家庭内暴力に悩まされてきました。4人の子供を育てるため働いて生計を支えることすら夫が拒否し結局彼は先日家を出ていきました。上の二人の子供たちはなんとか高校を卒業し今年大学に進学しますが、ジャスミンさんだけの収入で学費をまかなうのはとても大変です。この家族の必要のためお祈りください。主が彼女たちの困難をみて、きて、助けてくださいますように。そして彼女たちが主との本当の出会いを経験しますように。

## 12日目

バングラデシュの難民キャンプに住むラフィック氏は熱心に働く人で、キャンプ外に住むキリスト者のところで雇われていました。娘が4人、息子が1人いて、特に娘の結婚費用は彼が負担するしきたりのため払いきれぬのか心配です。またキャンプの外に出ることが徐々に規制され始めています。ため仕事を見つけることが難しくなってきました。かといって毎月十分な難民手当があるわけでもありません。キャンプ内の仕事は少なく、日雇い仕事やNGO関係の通訳などに就けたらいいほうです。しかも最近になってキャンプの内部に暴力でお金を巻き上げる人たちが現れ、賃金収入のある難民をターゲットにしています。人々がこのような圧力から守られるように、そして仕事をして家族を養うことができるようにと祈ってください。



**E**

感情と精神的健康のため：ロヒンギャ人が経験してきた精神的トラウマは彼らを深く傷つけ苦しめています。彼らの心が真の平和を得ることができるように。

**13日目**

ロヒンギャ人への暴力は一時的なものではなくて何十年間もくりかえし波のように起こってきました。今でもロヒンギャ人は世界中で最も迫害されている民族の一つであると認識されています。彼らが受けてきた身体への暴力は様々な形をとり凄惨なものでした。結果として精神的にも深いトラウマが残りました。安心して住んでいた家から追い出されて今も生活は不安定です。また将来への希望がもてない不安は大きな精神的負担です。ロヒンギャ人達が受けてきた暴力の傷と記憶から、彼・彼女らが本当に癒され慰められることは可能でしょうか。聖霊の働きによりそれが可能です。愛をもって傾聴し、正しいケアを提供できる人たちが与えられますように祈りましょう。

**14日目**

ヌルジャンさんは未婚の母です。相手の男性は、彼女と結婚するという約束したまま逃げてしまいました。彼女は子育てに加えて障害のある15歳の妹の世話も一人でみています。難民キャンプの中で何千人に囲まれていてもヌルジャンさんはひどく孤独です。近所の人は彼女と関わらないようにしています。外では小さな子供にさえも見下げられ、障害のある妹もいじめられています。コミュニティから無視されて孤独と危険にさらされている女性たちのためにぜひ祈ってください。主が彼女たちを愛して受け入れておられることを知らせたい。彼女たちが受け入れて生き生きと暮らしていけるコミュニティが見つかりますように。

**15日目**

ファイザさんと家族がキリスト者のグループと一緒にミャンマーから脱出したのは2017年のことでした。それ以降バングラデシュの難民キャンプに住んでいます。5歳の息子が慢性の病気を患い定期的にキャンプ内のクリニックへ通院しなくてはならずとても心配です。夫はその信仰のゆえに、あるグループから殴る蹴るの暴行にあったこともあります。その夫も最近薬物に手を出そうとしたりと、ファイザさんの心労は深まるばかり。主が彼女を担い困難の山を一緒に乗り越えてくださいますように。

**16日目**

17歳で長兄家族とともにバングラデシュに逃げてきたアンナさんの両親はまだミャンマーに残っています。先日長兄が決めてきた人と結婚したのですが全く初対面の相手で嫁ぎ先の家族にも全くなじむことができません。アンナさんは今独りぼっちで両親に会いたくてたまりません。不安が募り、涙が止まりません。ミャンマーから逃げる途中でこのように分かれ分かれになった家族たちのために祈ってください。連絡を取り合うことができ、お互いの様子がわかりますように。彼女のような孤独な人に、キリスト者が行って友となることができそうですように。

**17日目**

ロヒンギャ難民キャンプで仕事をしている現地のバングラデシュ人の一部には問題があります。ロヒンギャ人を差別したり汚い言葉をつかって脅したり、あげくのはてには配布すべき支援物資を渡さなかったりして彼らを搾取することまで起きています。どうぞ給料欲しさに働くというだけでなく、傷ついた相手を助けるという思いで親切で敬意をもった接し方ができるように祈ってください。その場にいるキリスト者たちが主イエスの光をこの時こそバングラデシュ人・ロヒンギャ人双方に示し模範を示すことができますように。

**18日目**

「主は捕らわれ人を解放される。主は盲人の目をあけ、主はかがんでいる者を起こされる。主は正しい者を愛し、主は在留異国人を守り、みなしごとやもめをささえられる。しかし主は悪者の道を曲げられる。」(詩篇146:7b-9)  
「主は心の打ち砕かれた者をいやし彼らの傷を包む。」(詩篇147:3) この御言葉をもって今日私たちは祈ります。ロヒンギャ人の未亡人たち、孤児たち、売春のため人身売買されている10代の女性たち、心の打ち砕かれた多くの人たちに、この御言葉に書かれている通り主の約束が成りますように。



# S

社会的必要:ロヒンギャ人が今いる場所での社会的つながりが、健やかで幸せな生活のよい基盤となりますように。

## 19日目

私たちの日本語は、言語体系が確立していて、文字と読み方の組み合わせが決まっています。しかもそれを自由に読んで書くことできるなんて、どんなにめぐまれたことか考えたことがありますか？ロヒンギャ語は(もともと話し言葉が中心であるゆえに)まだ文字表記の方法も読み方も決定していません。あちこち読み書きのルールが試作されているという段階です。世界中に散らばったロヒンギャ人が聖書を読みたいと願ったときに、自分の言語で造り主のことを知ることができるようになりますように。御言葉が彼らの人生に豊かな実を結びますように。

## 20日目

今日はミャンマーに起きている政治的混乱のために祈ります。主よ、あなたはどんな状況においてもあらゆる人に働きかけることのできる方です。御国がきますように。民族間に存在してきた無関心や偏見、憎悪が、ロヒンギャ人も含めてお互いへの同情といたわりへと変わりますように。政治や宗教のリーダー達の心をまず取り扱ってください。ロヒンギャ人が人間らしく扱われますように。あなたがお造りになった人間にたいして尊厳をもって見るリーダー達へと変えられて、その姿をみて国全体が変えていきますように。

## 21日目

新型コロナウイルスの広がりでもマレーシアでも仕事が減り特にロヒンギャ難民のような弱い立場にいる家族は収入が激減しています。10代の若者たちが家計を支えるために仕事に駆り出されていて勉強を続けられなくなっています。彼らが今基本的なことを勉強しておくことが、これから生きていく力になることを両親たちが理解できますように。困難な生活の中であっても子供たちが何らかの形で勉強を続けられますように。

## 22日目

アメリカのミルウォーキーという都市に、いまとても大きなロヒンギャ人街ができて始めています。ロヒンギャ料理用の食材をあつかう店が一つの通りに4つもあるといった密集具合。家々もひしめきあって建ち、みんな身を寄せ合うようにしてかたまつて暮らしています。そうすると現地語の英語を話そうという気持ちにもなくなり、自分たち以外のコミュニティとは関わろうとしなくなります。ミルウォーキーに住むキリスト者たちがロヒンギャ人を訪ねて行って友達になりますように。怖がらなくていい、あなたたちはこの町に受け入れられ愛されていると伝えることができますように。ロヒンギャ人コミュニティに入っていくキリスト者たちが、地の塩、世の光の役割をそこで担うように。

## 23日目

ミャンマー国内で、ロヒンギャ人に太陽光エネルギーを使って料理ができるソーラー・ストーブを配布しようという活動が始まりました。それによって燃料が抑えられ、木を切らずにすむので環境も守られます。ただ、ロヒンギャ人が住む土地はかなり他とは隔離されており、出入りするには警備員の許可をもらわなくてははいけません。この料理用器具が無事に配布できて、使い方の説明もできますように。主催者が願う真の目的は主イエスの愛を伝えること。このプロジェクトの実が実りますように。

## 24日目

使徒パウロは為政者のために祈れと励ましました。(第一テモテ2:1-2)ロヒンギャ人が離散した世界中の国で難民政策を握っているリーダー達のため祈りましょう。ミャンマー、バングラデシュ、マレーシア、タイ、日本、パキスタン、サウジアラビア、アメリカ、などの受け入れ国が、難民の身体的・社会的ニーズを助け、子供たちに教育の機会を与え、不正の中に置かれたロヒンギャ人に対して正義を示しますように。難民として認定され、落ち着いて生活するために必要な手続きが進みますように。



# S

霊的な必要:キリスト・イエスの良き知らせがロヒンギャ人に届けられ、救いと真理と正義と変革をもたらすように。

## 25日目

ロヒンギャ人が信仰してきたのはイスラム教と土地の宗教がまじりあった独特なものです。まじない師のところに入りし、祝福や、のろい、悪霊からの守護、縁結びについて占ってもらう習慣があります。コーランできよめた水だとかお札やお守りといった物がロヒンギャ文化には深く入り込んでいて、アラーの神よりもむしろ色々な霊のほうを恐れている人が多いくらいです。「神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。」(第一ヨハネ3:8b) 主イエスの力が悪霊どもを縛りあげ、ロヒンギャ人に影響を与えている悪の力を砕き、王なるキリストの力に信頼する道を教えてくださいますように。

## 26日目

バングラデシュに逃げてきたロヒンギャ難民の中には、現地のキリスト者や外国人ワーカーの働きかけによって主イエスを求め始めた人や、実際キリスト者となった人たちがたくさんいます。ところが、色々な妨げによってロヒンギャ人の信仰者同士が知り合うことは容易ではありません。新しい信仰を公言する恐れもあるでしょう。またそれによって彼ら自身が孤独にもなっています。主イエスの愛を受け取ったロヒンギャ人たちが知り合い、キリストについて語りあい信仰を励ましあうコミュニティが生まれますように。

## 27日目

激しい迫害による難民化の流れでロヒンギャ人がどんどん世界中に散らばりコミュニティが壊されている中でも聖書翻訳が進んでおり、これは奇跡です。翻訳プロセスの重要な段階のひとつに、一般のロヒンギャ人たちに翻訳したものを読み聴きしてもらって文章が正しく理解されるかのチェック作業があります。コミュニティ流動し人が一か所にとどまらない現状の中でこの作業をするのは大変な努力と工夫が必要ですので祈ってください。またすでに翻訳が終わった聖書の部分については、どんどん用いられてロヒンギャ人がまことの創造主を知り信仰が育てられる助けとなりますように。

## 28日目

7年前からマレーシアに移住したイブリース氏は行く先々でリーダーとなる資質を備えた青年です。人望もあつく職場では信頼され大切にされています。しかし最近、ある過激主義のイスラム教教師に弟子入りするため仕事を辞めないかと勧められています。彼のような青年たちのために祈りください。過激主義の学校で勉強している青年たちが、イエスキリストについて聴き興味を持つチャンスがありますように。そして主イエスを人生のモデルとして選択できますように。

## 29日目

ラミアさんはイスラム教徒のロヒンギャ人女性です。近所に住むキリスト者の友人が彼女を訪問して信仰のことや魂の深いところの話題をしていくことを村の宗教指導者が嫌い、彼女たちの交流を禁止してしまいました。指導者いわく、神の言葉について自分で考える必要はない、教えられたことに質問せず黙って従えばいいのだというのです。このような妨げにあっても魂から湧いてくる疑問に真実のこたえを求める彼女たちの探求は止まりません。霊的な疑問に対して語りあえて、答えを得る道が備えられるよう祈ってください。

## 30日目

詩篇67篇をロヒンギャ人のための祈りとして一緒に祈りましょう。  
「どうか、神が私たちをあわれみ、祝福し、御顔を私たちの上に照り輝かしてくださるように。それは、あなたの道が地の上に、あなたの御救いがすべてのロヒンギャの間に知られるためです。神よ。ロヒンギャがあなたをほめたたえ、ロヒンギャがこぞってあなたをほめたたえますように。ロヒンギャが喜び、また、喜び歌いますように。それはあなたが公正をもってロヒンギャをさばかれ、ロヒンギャを導かれるからです。神よ。ロヒンギャがあなたをほめたたえ、ロヒンギャがこぞってあなたをほめたたえますように。地はその産物を出しました。神、私たちの神が、私たちを祝福してくださいますように。神が私たちを祝福してくださって、世界中のロヒンギャが、ことごとく神を恐れますように。」

このみことばどおり  
ロヒンギャにも  
成りますように。  
アーメン

FOR MORE INFORMATION,  
VISIT [WWW.PRAY4ROHINGYA.ORG](http://WWW.PRAY4ROHINGYA.ORG)